

【週刊タバコの正体】

Vol.32 第15話～第17話

2015/12

和歌山工業高校 奥田恭久

■Vol. 32

(No. 449) 第15話 がんの治療費

－タバコ代に加えてがんの治療費も自分持ち…

タバコが原因で発症する病気はたくさんあります。がん、心筋梗塞、脳梗塞、COPD（慢性閉塞性肺疾患）などがその代表ですが、どんな病気でも病気だとわかれば、病院で治療をうけることとなります。すると、当然のことながら治療費が必要ですよ。大した病気であれば数回の治療ですむので治療費も少ないでしょうが、入院や手術が必要になってくるとそれなりに高額となってきます。

例えば、がんの治療には下表にあるような費用がかかります。この表は厚生労働省の医療給付金実態調査の統計をもとに推計した、2012年の治療1件あたりに支払われた平均の費用だそうです。

(No. 450) 第16話 ニコチン切れのストレス

－ニコチン切れのストレスを感じるのは喫煙者だけ…

何かのはずみでタバコを吸い始めてしまうと、気付かない間に“ニコチン依存症”にかかってしまいます。特に未成年者ほどニコチン依存症に陥りやすいと言われています。ちょっとした興味から数本のタバコを吸ってしまったがために、一生タバコを吸い続ける事になった人はめずらしくありません。

ニコチン依存症の人は、周期的にタバコを吸いたくなります。これは体内のニコチンが切れてくると落ちつかなくなり、タバコを吸ってニコチンを補給しなければならないからです。

つまり、ニコチンが切れるとイライラしてストレスがたまり、タバコを吸うと落ち着くというサイクルを繰り返しているのです。多くの喫煙者はこの現象を「タバコはストレスを解消してくれる」と感じているようですが、これは「タバコを吸わないとリラックスできない」と思っているようにも見えます。

(No. 451) 第17話 タバコを吸うための時間

－忙しい時代にタバコを吸うための時間を確保すること…

ニコチン依存症にかかってしまうと、周期的にタバコを吸ってニコチンを補給しなければならなくなります。来る日も来る日も、少々体調が悪くても、少々忙しくても、朝から晩まで何本かを吸い込まなければ生活できません。そのためには相当なタバコ代が必要で、そしてそのせいでがんなどの病気になるとその治療費まで自分持ちだと言うことはすでに紹介しましたね。

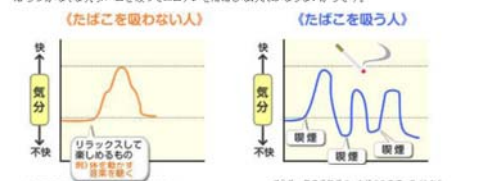
じつは、さらにもうひとつ知っておかなければいけない事があります。それは「タバコを吸うための時間」です。

ニコチン依存症の人は当然仕事にもタバコが吸いたくなります。自分一人だけの職場では好きな時にその場で喫煙しても問題ないでしょう。でも通常は複数人と同じ職場なので、関係のない人の受動喫煙を防ぐため職場を離れ喫煙場所に移動して喫煙しなければならないのが普通です。例えば、上図のように毎日勤務時間中に50分も…

VOLUME 32 SERIAL NUMBER 450 第16話
週刊 タバコの正体

何かのはずみでタバコを吸い始めてしまうと、気付かない間に“ニコチン依存症”にかかってしまいます。特に未成年者ほどニコチン依存症に陥りやすいと言われています。ちょっとした興味から数本のタバコを吸ってしまったがために、一生タバコを吸い続ける事になった人はめずらしくありません。

ニコチン依存症の人は、周期的にタバコを吸いたくなります。これは体内のニコチンが切れてくると落ちつかなくなり、タバコを吸ってニコチンを補給しなければならないからです。



たばこを吸っている人は…

日常のストレス (例) 仕事、育児、洗濯など + ニコチン切れのストレス

つまり、ニコチンが切れるとイライラしてストレスがたまり、タバコを吸うと落ち着くというサイクルを繰り返しているのです。多くの喫煙者はこの現象を「タバコはストレスを解消してくれる」と感じているようですが、これは「タバコを吸わないとリラックスできない」と思っているようにも見えます。

喫煙者にとっては、確かにタバコはストレスを解消してくれます。ところが、上部にあるように喫煙者は日常のストレスに加え、ニコチン切れによるストレスも周期的に感じているわけです。すなわち、喫煙者はニコチン依存症の人だけが感じるストレスをタバコで解消している、という事なのです。

いかがでしょうか、タバコを吸い始めなければ感じることのないストレスを解消するために、さらにタバコを吸い続けているわけですから、やっぱりタバコを吸い始めるのは事実です。



VOLUME 32 SERIAL NUMBER 451 第17話
週刊 タバコの正体

ニコチン依存症にかかってしまうと、周期的にタバコを吸ってニコチンを補給しなければならなくなります。来る日も来る日も、少々体調が悪くても、少々忙しくても、朝から晩まで何本かを吸い込まなければ生活できません。そのためには相当なタバコ代が必要で、そしてそのせいでがんなどの病気になるとその治療費まで自分持ちだと言うことはすでに紹介しましたね。

喫煙者が勤務中に離席すると



この図を見て、どう感じますか。喫煙者には難い方ですが、「毎日1時間近くサボってるの？」って思われませんか。そして、この高のような離席で職場を離れている人がたまたたたら、「Oのさんは、どこ？」「ああ、またタバコを吸いに行ってるんじゃない？」なんて言合話が頻りに発生してそうですよ。

いかがでしょう。こんな状況が日常業務では、その人の仕事上の評価や俸給に影響がなくても、現代は、当人の本来の能力とは関係なく「タバコを吸うための時間」が必要な人は不利な時代になっています。

そう考えると、やっぱりタバコを吸い始めるのは、もったいなく高懸けていませんか。



毎週火曜日発行



URL: http://www.jascs.jp/truth_of_tobacco/truth_of_tobacco_index.html

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。
※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。
※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

